

## 第32期第7回常任理事会議事録

日時：2003年2月17日（月）13時30分～17時00分

会場：日本気象学会事務局（気象庁8階）

出席者：廣田，勝山，神沢，木田，近藤，住，新野，  
藤部，萬納寺，以上9人。

その他の出席者：館，島村（以上事務局）

議事：

1. 第32期第6回常任理事会議事録の確認
2. 各委員会の報告

庶務…転載許可

天気47巻 p. 703に掲載されている第3図を財務省印刷局から刊行予定の「地球温暖化研究の最前線」—環境の世紀と知の技術2002—へ転載

- ・後援名義等使用依頼受付

名称：雷サミットII—自然を活かした市民の学び—

- 1) 主催：雷サミットII実行委員会
- 2) 期日：平成15年3月1日（土），2日（日）
- 3) 場所：慶応義塾大学鶴岡タウンキャンパス・キャンパスセンター棟西側1F 山形県鶴岡市馬場町14-1

- 4) 名義：後援

- ・著作権使用料の支払いについて  
電子図書館サービスでの著作権使用料を受け取る。
- ・第4回東京湾海洋環境シンポジウムの報告  
運営委員の鈴木靖会員から1月16日に開催されたシンポジウムの内容が書面で報告された。
- ・平成15年度（第44回）科学技術週間について（依頼）  
科学技術週間中，およびそれ以外の時期に行われる学会主催の講演会などの行事を知らせるよう依頼があった。
- ・第三種郵便物認可刊行物の定期監査について  
資料提出：平成14年12月13日  
第三種郵便物の認可：平成15年1月24日
- ・2003年度春季大会委員長就任を筑波大学木村富士男会員に依頼
- ・水循環シンポジウム—21世紀の研究課題と展望—の共催，分担金について  
企画や講演に気象学会の会員が積極的に関わっているわけではないので共催はせず，分担金の

支払いは行わない。

会計…2003年1月分の収支報告

天気…Vol. 50 No. 2（2003年2月号）の掲載記事と  
Vol. 50 No. 3（2003年3月号）掲載予定記事の報告。

気象集誌…IUGG札幌でJMSJのパンフレットを作って配る計画があり，見本が提出された。パンフレットを作成することを了承し，パンフレットの内容，印刷経費についてさらに検討する。

講演企画…春季大会には韓国気象学会の代表は出席するが中国気象学会の代表の出席は未定。

教育と普及…夏季大学は8月4～6日，東京大学山上会館で開催する。「都市の気象と災害（仮題）」

- ・学会勧誘パンフレットを検討する。
- ・地球惑星科学関連学会2003年合同大会の特別セッション「地学教育の展望」で坪田理事が講演を行う。

国際学術交流…若手研究者の海外研究集会参加の補助の意義が最近薄れてきている。継続するが，積極的に募集はしない。

電子情報…2003年1月1～31日の気象学会ホームページのアクセス状況（58,412件）。

- ・1月のメイリングリスト配信記録（2件）
- ・気象庁データがどのくらい取得されているか調べるべきとの提案があった。

その他：シンポジウム「21世紀の大学研究所の将来像」の報告…2002年春季大会で行われたシンポジウム「21世紀の大学研究所の将来像」の「天気」に投稿する報告の原稿の概要が提出された。評議委員会の資料とする。

3. 会員の新規加入等について  
新入会員23名を承認，退会12名。2月14日現在，会員数4,352名（内，通常会員3,875名）。
4. 2003年度総会に向けて  
「天気」3月号で総会参加を呼びかける。
5. 2003年度学会賞・藤原賞の推薦について  
1名の学会賞候補者，2名の藤原賞候補者を決定した。推薦文を若干修正した後，全理事の投票を行う。
6. 2003年度総会資料について

- (1) 2002年度事業報告(案)
- (2) 2003年度事業計画(案)
- (3) 予算案

これらの案を検討した。総会では事業計画を説明する際に学会の問題意識を示す事とした。

- 7. 第19期日本学術会議会員などについて  
延期されていた会員推薦手続きが開始された。「学術会議会員候補者および推薦人の選考委員会」委員候補者を選んだ。選考対象者の募集を行う。
- 8. 評議員会の開催について  
開催案内の文書を確認した。
- 9. IUGG2003アウトリーチ活動への参加について  
IUGG 札幌ではIUGG 参加者でない地元の人へ、次のような啓蒙活動を行う事としている。
  - (1) 市民大学
  - (2) 青少年科学館特別プログラム
  - (3) ジュニアセッション

- (4) 小学校への出前授業

教育と普及委員会でこの件に関して検討した。このうち、小中高校生による研究発表である(3)以外は学会として関わる事とした。(1)は日本気象学会理事長とIAMAS会長による市民向けレクチャー、(2)は北海道支部の夏季大学の振り替えが可能、(4)は理事長が引き受けることとした。

- 10. 気象学会東北支部活動への支援について(依頼)  
気象学会東北支部から気象講演会開催に関する費用の支援の依頼があった。趣旨を了承し、より具体的に希望を聞く事とする。
- 11. その他
  - (1) 気象学会会員に呼びかけるIUGGへの寄付の振り込み手数料は気象学会負担とする。
  - (2) 基本財産の運用益の使途に関する規定が必要である。

## 2003年度島津賞の候補者推薦募集および島津科学技術振興財団研究開発助成の募集

標記の賞・助成は島津科学技術振興財団が運営しているものです。関心のある方は以下の要領で推薦・応募して下さい。

### 1. 島津賞

- (1) 表彰の対象  
科学技術、主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究において、近年著しい成果をあげた功労者
- (2) 表彰の内容  
賞状、賞牌、副賞賞金300万円
- (3) 表彰件数  
1件  
この賞の応募には学会の推薦が必要です。気象学会では、7月末ごろに「学会外各賞候補者推薦委員会」を開催して推薦候補者を選考する予定です。その際の参考にするため、推薦するにふさわしい方をご存じでしたら、簡単な推薦理由を添えて2003年7月中旬までに気象学会(右記連絡先)あてお知らせ下さい。

### 2. 島津科学技術振興財団研究開発助成

- (1) 助成の対象  
科学技術、主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究
- (2) 応募の資格  
原則として、国内の研究機関に所属する45歳以下の新進気鋭の日本人研究者
- (3) 助成金額  
総額800万円、1件につき100万円以下  
この助成の応募には学会の推薦は必要ありません。詳しい応募要領や応募用紙は <http://www.shimadzu.co.jp/SSF> からダウンロードできます。また気象学会にあります。応募したい方は、各自で書類を入手の上、上記財団に直接送付して下さい(2003年9月30日必着)。  
連絡先：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4  
気象庁内日本気象学会  
学会外各賞候補者推薦委員会